

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を主体とした平地農業地域
- 市街地からは約 2 kmと近い位置にあるが、頸城平野の広大な農地に囲まれた田園地帯であり、近年は担い手への農地集積が進んでいる。

【支援内容・背景】

- 当地区は農業者の減少・高齢化が進行しており、農地の受け手となる担い手の確保・育成が必要。
- 助成対象者は地域における中心的な担い手として地区の内外から農地を受け入れており、急速な経営規模の拡大に対応するための営農体制づくりと人材の確保等が課題。
- このため、水稻の大規模化と法人化による経営力強化の取組モデルとして支援。



助成対象者「株式会社 篠宮農場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成25年
現経営者が父から経営を継承
- 平成28年
現経営者の長男が就農
- 令和元年頃
水稻作付面積が大幅に拡大
(約18ha→約26ha)
- 令和4年
人材の確保・育成を図るため法人化

《事業活用の背景》

- 経営面積の拡大に応じた収穫・乾燥調製作業能力の強化を図るため機械導入。
- 併せて、雇用者の確保・定着を図るため法人化等の取組を実施。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 38百万円

○経営面積 38.4ha

（水稻 25.8ha
その他 12.6ha
(作業受託等)

《事業による整備内容》

○コンバイン(6条刈) 1台
事業費 14,603千円
(国費 6,638千円)



○乾燥機(80石) 2台
事業費 4,696千円
(国費 2,134千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○売上高 59百万円 (156%)

○経営面積 53.5ha (139%)

（水稻 48.3ha
野菜 0.1ha
その他 5.1ha
(作業受託等)

事業の
効果

《対象者》 機械導入により営農体制が強化され、売上高の増加を実現。加えて、法人化をきっかけに人材育成や労務環境改善に取り組み始め、令和4年度に1名、令和5年度に1名の正社員雇用を実現。

《地区》 地区の耕作放棄地の発生防止に寄与。また、人材の確保・育成のモデル的法人として地域への波及を期待。